

講義名	貿易論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	岡島 慶知		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	12066

主題と概要

グローバル化はもはや止めることはできません。賛成とか反対ではなくて大きな潮流の流れのようなものと思ってください。その流れは日本社会の細かいところにまで影響をもたらします。このようなグローバル化の現実経済に与える影響について学ぶのが貿易論です。

到達目標

学生は、政府の産業政策（例えば日本の携帯電話キャリアに対するSIMロックの容認政策）がグローバル化した経済でどのような影響をもたらすのか説明できるようになる。ローカルな産業集積地域（例えばシリコンバレーやアメリカ・メキシコ国境地帯のマキドラーなど）がどのような誘因を企業に与えるか説明できるようになる。政府の貿易政策（例えばコメの輸入関税およびミニマムアクセス米制度）が消費者にどのような影響を与えるか、またどのような誘因を国内生産者に与えるかを説明できるようになる。

提出課題

予習復習サイトにアクセスして解答してもらいます（ケータイからのアクセス可）。

評価の基準

授業内小テスト1点*15回=15点
発表3点*5回以上=15点以上
予習復習2点*15回=30点（予習15，復習15）
中間テスト12点
期末テスト28点
合計100点。100点を超える得点については調整（予定）

履修にあたっての注意・助言他

受講態度が悪い場合には、数十点を減点されるリスクがあります。

教科書

.国際経済学をつかむ 第2版 .	石川 城太 (著), 椋 寛 (著), 有斐閣 菊地 徹 (著)	2376	4641177198
.教科書は、授業の理解15点、予習15点のために必要です.			

プリント資料及び参考文献

授業計画

1. 第1章 比較優位
2. 第2章 部分均衡分析
3. 第3章 産業内貿易と規模の経済
4. 第4章 貿易政策・基礎
5. 第5章 貿易政策・応用1
6. 第5章 貿易政策・応用1
7. 第6章 貿易政策・応用2
8. 中間テスト+復習
9. 第8章 国際貿易のルールと貿易交渉
10. 第9章 サービス貿易とIT
11. 第10章 地域貿易協定の現状と制度
12. 第10章 地域貿易協定の経済学
13. 第11章 要素移動：多国籍企業
14. 第11章 要素移動：労働
15. 第12章 貿易と環境

予習・復習

授業内で指示する

備考